

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
学校だより No.18
平成 30 年(2018 年)3 月 1 日

あと 12 日で卒業式です

2 月 16 日の「たてわりお別れ会」に続いて、昨日 28 日に「卒業おめでとう集会」が行われました。温かい雰囲気に入れ、6 年生への感謝とお祝いの気持ちがよく表れた集会でした。心が込められた出し物にはそれぞれのメッセージがありました。



- 1 年生「くりとぐらの 12 月」のメッセージは、「ありがとう」そして「6 年生へのあこがれ」。
- 2 年生「ピアノ演奏」と詩「ぼいぼい・たいそう」のメッセージは、「6 年生へのエール」「応援」。
- 3 年生「呼びかけ」と群読「祭り」のメッセージは、「6 年生の大きな思いやり」。
- 4 年生「思い出劇」のメッセージは、「6 年生との思い出」「いつまでも忘れません」。
- 5 年生「合唱」と「呼びかけ」からのメッセージは、6 年生の「優しさ」「明るさ」「笑い」。
- 6 年生「合奏」「合唱」からのメッセージには、「みんなに感動を与え」「自信をもつ」。

6 年生の学年通信に「6 年生と下学年の距離が近いのは、心の距離の近さである」と書いてありました。小さい子の心によりそい育てた、安心感と信頼感が今の結果です。下学年の発表を見ながら 1 年間の成長を嬉しく思うと共に、6 年生の完成度の高い堂々とした姿に感動しました。中学校での活躍を期待します。

皆様のおかげさまでの芸術鑑賞会

2 月 23 日(金)には、アルミ缶回収事業による芸術鑑賞として、デキシーランドジャズの演奏者を招くことができました。デキシーランドジャズとは、貧しかったアメリカの時代に身近にある道具を使ってジャズを演奏したということが起源だそうです。子どもたちは素直に音楽とリズムを気持ちよく体験していました。また、改修工事になっておりました体育館も完成し、そのお披露目会もかねての芸術鑑賞会でした。

公演終了後、来ていただいた学校支援ボランティアの皆さんに児童を代表して 6 年生から感謝の言葉を伝える場面がありました。学校は、これまで以上に地域社会と連携・協働しながら教育活動を進めていくことが求められています。過日報告させていただきました学校評価での反省を踏まえ、検証・検討を重ねながら、能登川西小学校が更にすばらしい学校になるようにこの時期しっかりと引き継いでまいりたいと思います。どうか変わらぬご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

まとめと準備の時期、次の学年につながる振り返りを

今日から 3 月、今年度最後の月です。子どもたちが登校する日もあと 15 日(6 年生は 13 日)を残すのみになりました。1 年生から 6 年生までの学習の様子を見せてもらっていると 1 年間の成長を感じます。ひらがなが書けなかった 1 年生が句読点を使って長い文を書けるようになり、宿題は面倒と思っていた子が、少し漢字や計算の宿題を楽しめているようになり、授業中大きな声で発表できなかった子が発表できるようになり、その成果は様々ですが、確実に次の学年につながっているようです。

あと 15 日の学習をしっかりと見届け、最後まで支援してまいります。ご家庭のご協力をよろしくお願いたします。

6年生41人の巣立ちに

向けて、そして1～5年生の子どもたちの進級に向けて、子どもたち一人ひとりの成長をしっかりと認め、励まし、学年末最後のまとめを行っていきたいと思います。